

編集復刻版

朝鮮戦争下 公安関係資料

みつながげんづち
光永源槌資料 全5巻＋別冊1

- ◎体裁 B5判／上製／総二、〇〇六頁
- ◎編・解説・解題 井上敏夫・井上 學・渡部富哉
- ◎原資料提供 渡部富哉
- ◎推薦 加藤哲郎（一橋大学名誉教授・早稲田大学客員教授・政治学）
- ◎内容構成 1952～1955年の資料一三六点
- ◎本体揃価格 100,000円＋税
- ISBN978-4-8350-6683-7
- ◎別冊（解説・解題・収録資料目録）1
- 別冊分売可 本体価格1,000円＋税
- ISBN978-4-8350-6690-5
- 刊行 2011年4月



昭和50年頃
光永源槌氏（一九〇一～一九九〇年）

山口県生まれ
経歴 鴻城中学校、中央大学法科卒業
内務省警察講習所卒業
警視庁特別高等警察部警部
終戦後7年間農業
法務府特別審査局事務官
山口地方公安調査局調査官を最後に退職
農業の傍ら小郡町議会副議長、同社会教育委員等自治体の各種役員、社会福祉法人清光園理事長代理等
（写真・資料提供 光永久江氏）

●関連図書

マイクロフィルム版

戦後日本共産党関係資料

全40リール

別冊（解説・解説）1

付録（収録資料目録）1

日本共産党の戦後再建初期から、一九五〇年一月六日付のコミンフォルム機関紙に掲載された論評「日本の情勢について」をめぐる党の分裂、一九五五年七月の六全協をへて一九五八年の第七回党大会に至るまでの党の内実を示す八〇〇余点の原資料を収録。

- 編 戦後社会運動未公開資料集刊行委員会
- 解説・解説 井上敏夫・井上 學・来栖宗孝・由井 格
- 原資料提供 由井 格／渡部富哉
- 推薦 伊藤 晃／加藤哲郎
- 全40リール・別冊1・付録1
- 揃定価 本体価格600,000円＋税
- ISBN978-4-8350-6600-7
- 別冊分売価 本体価格1,000円＋税
- ISBN978-4-8350-6644-1
- 付録分売価 本体価格5,000円＋税
- ISBN978-4-8350-6645-8

十五年戦争極秘資料集 補巻34

「合作社事件」関係資料 全2冊

元関東憲兵隊員が遺した、「合作社事件」被疑者六名の、送検から起訴に至るまでの取調資料を復刻。

- 編・解説 「合作社事件」研究会
- 揃定価 本体価格40,000円＋税
- ISBN978-4-8350-6263-2

●表示価格はすべて税別。

不二出版

T113-0023
東京都文京区向丘1-2-12
電話03-3812-4433
ファクシムル03-3812-4464
振替001600294084

編集復刻版

朝鮮戦争下 公安関係資料

みつながげんづち
光永源槌資料

全5巻＋別冊1

B5判／上製／総二、〇〇六頁

編・解説・解題 井上敏夫・井上 學・渡部富哉

本体揃価格 100,000円＋税

不二出版

本資料集は、弊社刊行マイクロフィルム版『戦後日本共産党関係資料』、復刻版『特審月報』と共に、朝鮮戦争期に展開された日本共産党とそれを監視し弾圧する公安機関の双方の活動を克明に解き明かす、貴重な記録であり、山口県を中心に地域レベルの具体的動きを知りうるという点で、典型的地域の詳細な社会運動資料である。本書原資料提供、編・解説者の渡部富哉氏が、光永源槌という無名の公安調査官に注目し、遺された職務資料の中に朝鮮戦争、日本共産党「五〇年問題」、在日朝鮮人運動についての珠玉の史資料を発掘。1952～1955年の資料一三六点を復刻！

朝鮮戦争、日本共産党「五〇年問題」、在日朝鮮人運動についての珠玉の史資料

加藤哲郎

(二橋大学名誉教授・早稲田大学客員教授・政治学)

本資料集は、先に不二出版から刊行されたマイクロフィルム版『戦後日本共産党関係資料』、復刻版『特審月報』と共に、朝鮮戦争期に展開された日本共産党とそれを監視し弾圧する公安機関の双方の活動を克明に解き明かす、貴重な記録である。山口県を中心に地域レベルの具体的動きを知りうるという点では、私自身が編纂に関わった『戦後初期沖繩解放運動資料集』とも共通する、典型的地域の詳細な社会運動資料である。

本書の土台となる「光永源植資料」の原本を提供し解説を書いたのは、渡部富哉氏である。渡部氏は、社会運動研究に新たな手法を開拓してきた。特高公安資料・司法資料などいわゆる官憲資料は批判的に解読しなければならぬが、それを弾圧された共産党や労働組合、被害者側の資料や証言で検証するばかりではなく、官憲資料相互の関係や矛盾を衝き、捜査・検挙・取調・起訴・裁判に関わった警察官・司法官の学歴・職歴・家族関係まであたり、文書記録の来歴を徹底的に調べ上げる。広く流布していたゾルゲ事件発覚、伊藤律端緒説を崩壊させた、名著『偽りの烙印』(渡部富哉著)の手法である。

だから、光永源植という無名の公安調査官に注目し、遺された職務資料の中に朝鮮戦争、日本共産党「五〇年問題」、在日朝鮮人運動についての珠玉の史資料を発掘することができた。本資料集はその戦後編で、戦前特高警察資料にも貴重な記録が含まれているという。本資料集が活用されることで、戦前編も編まれることが期待される。

収録資料目録 <編集復刻版第1巻>

注記、一、資料名・発行年月日の〔 〕と*は不二出版編集部で補ったことを示した。一、発行主体は明記されているもののみ記した。

資料番号	資料名	発行(作成)年月日	発行主体	版型	印刷	頁数	編集復刻版巻数	編集復刻版頁数
1-1	「武装斗争の思想と行動の統一のために」	[1952年10月頃]		B5	ガリ版	16		1
1-2	教養資料 1952年10月 「日本共産党の概況/日共の軍事方針/日共の国鉄工作」(10月25日) 教養資料 1952年10月 「日本共産党の労働組合組織内の党员グループ(所謂G)の性格」ほか(11月5日)、「日共の秋季労働攻勢当面の戦術と組織」(15日)、「日共の学習の資料」(25日)、「政治ノート特集録」(12月5日)、「軍事ノート特集録」(10日) *「教養資料」は逐次刊行物	1952年10月25日~12月10日	山口地方公安調査局	B5	ガリ版	24		17
1-3	部外秘 「武装斗争の思想と行動の統一のために」要旨(1952年10月) *資料1-1の要旨	1952年10月		B5	タイプ	8		41
1-4	極秘 教養資料(1952年12月10日) 「統一運動委員会(統一委)発展の過程について」	1952年12月10日	山口地方公安調査局	B5	ガリ版	8		49
1-5	極秘 教養資料(1952年12月15日) 「軍事方針を正しく理解するために」吉川光夫論文	1952年12月15日	山口公安調査局	B5	ガリ版	6		57
1-6	秘 教養資料(1952年12月20日) 「労働関係当面の調査重点」	1952年12月20日	山口公安調査局	B5	ガリ版	8		63
1-7	秘 教養資料(1952年12月20日) 「一、全国自労グループ対策指導員学習会議の状況」	1952年12月20日	山口公安調査局	B5	ガリ版	14		71
1-8	極秘 教養資料(1952年12月25日) 「軍事ノート特輯録——軍事問題の抜粋」	1952年12月25日	山口公安調査局	B5	ガリ版	8		85
1-9	[題目無し]「第一課関係(対朝鮮人関係)」[第二課関係(朝鮮団体刊行物)]「第三課関係(外国人一般)」[第四課関係(右翼)]	[1952年]		B5	ガリ版	12		93
1-10	極秘「党内教育の方針」(草案)(1952年10月) *7-8頁は頁数誤記/24~32頁は欠落	1952年10月		B5	タイプ	36		105
1-11	公安調査資料 昭和27年12月9日号「西独連邦憲法裁判所の『社会主義国家党』に対する違憲の判決について」	1952年12月9日	公安調査庁	B5	タイプ	12	第1巻	141
1-12	軍事ノート No.8 [1952年] 9月15日	[1952年] 9月15日		B5	ガリ版	6		153
1-13	軍事ノート No.10 [1952年] 10月6日	[1952年] 10月6日		B5	ガリ版	10		159
1-14	公安調査資料(昭和27年12月8日)「ロシヤ革命において政府と革命主義者は如何に戦術を転換しながら応戦したか」	1952年12月8日	公安調査庁	B5	タイプ	84		169
2-1	部外秘 特審調査資料(昭和27年7月18日)「ロシヤ革命の過程におけるボルシェヴィキと左翼政党間の断引について」	1952年7月18日	法務府特別審査局	B5	タイプ	30		253
2-2	公安調査海外資料 第十二号「海外放送旬報」(白八・二〇 至八・三一)	[1952年]	公安調査庁	B5	タイプ	16		283
2-3	公安調査海外資料 第二十号「アイゼンハウアー大統領と共産主義」	[1952年]	公安調査庁	B5	タイプ	6		299
2-4	公安調査海外資料 第十三号(昭和27年10月15日)	1952年10月15日	公安調査庁	B5	ガリ版	26		305
2-5	[山口地方公安調査局組織図 昭和27年10月20日現在]	1952年10月20日		B4	ガリ版	2		330
2-6	「Y工作に対する視察内偵上の注意(案)」	[1952年10月頃]		B5	ガリ版	14		332
2-7	山口県下右翼反共親睦団体一覧表	[1952年]		B4	ガリ版	2		346
2-8	山地公調発 第205号 昭和27年12月12日 駐在調査官殿 山口地方公安調査局長 「資料の証憑化について」	1952年12月12日	山口地方公安調査局	B5	ガリ版	6		349
2-9	山地公調発 第301号 昭和27年12月23日 各調査官殿 山口地方公安調査局長 「機関紙『政治時報』発行情報入手に就て」	1952年12月23日	山口地方公安調査局	B5	ガリ版	4		355
2-10	山地公調発 第306号(昭和27年12月24日) 各調査官殿 山口地方公安調査局長 「日共の機関誌の配付状況調査について」	1952年12月24日	山口地方公安調査局	B5	ガリ版	4		359
2-11	山地公調発 第308号(昭和27年12月24日) 各駐在調査官殿 山口地方公安調査局長 「アカハタ調査について」	1952年12月24日	山口地方公安調査局	B5	ガリ版	2		363
2-12	山地公調発 第788号(昭和27年12月25日) 各調査官殿 山口地方公安調査局長 「調査第二課長会議の指示事項について」	1952年12月25日	山口地方公安調査局	B5	ガリ版	4		365

関連年表(日本共産党を中心に)

1945年10月10日	指導部出獄
1945年11月8日	第一回全国協議会
1945年12月1~3日	第四回党大会
1946年2月24~26日	第五回党大会
1946年5月22日	第一次吉田内閣
1947年1月31日	2・1ゼネスト禁止令
1947年6月1日	片山内閣成立
1947年12月21~23日	第六回党大会
1948年3月10日	芦田内閣成立
1949年2月16日	第三次吉田内閣
1949年7月5日	下山事件
1949年7月15日	三鷹事件
1949年8月17日	松川事件
1949年10月1日	中華人民共和国成立
1950年1月6日	「コミンフォルム機関紙に「日本の情勢について」掲載
1950年1月12日	政治局、「日本の情勢について」に関する所感」を発表
1950年1月17日	北京人民日報「日本人民解放の道」を発表
1950年1月18~20日	第一八回拡大中央委員会 徳田 コミンフォルム論評の積極的意義を認める決議 野坂自己批判、志賀意見書撤回へ野坂、「自己批判」を発表
1950年2月6日	中央委員二四名公職追放
1950年6月6日	臨時中央指導部指名(議長 椎野) 地下活動の開始
1950年6月7日	朝鮮戦争はじまる
1950年6月25日	非合法機関紙「平和と独立」創刊
1950年8月12日	四全協 臨時中央指導部「軍事方針について」提出
1951年2月23~27日	五全協 「五一年綱領」採択 軍事方針が決定 「軍事闘争」「武装」路線
1951年10月16・17日	白鳥事件
1952年1月21日	血のメーデー事件
1952年5月1日	「平和と独立」終刊
1955年5月12日	
1955年7月27・29日	第六回全国協議会

内容見本 35%に縮小してあります

資料1-1

武装斗争の思想と行動の統一のために

1

資料4-1

研究資料

山口地方公安調査局

1

資料5-6

新資料

日共の生産管理戦術について

五三三、七五

177

第3巻